

令和5年度 第2回岡崎市自殺対策推進協議会

日 時	令和6年1月26日（金）午後1時30分から午後3時
場 所	岡崎歯科総合センター 2階会議室
出席者	伊藤義美、安西幸治、大野勝弘、青木裕明、岡田京子、西川恵子、佐藤雅史、梅本嘉一、井村国稔、山本京子、光部達也、花井幸二、宮澤会美香、村井ちる子、坂東英子 欠席：段野哲也、竹中秀彦、三輪扶弥、林智栄、高橋洋三 傍聴者：なし
事務局	地域福祉課、ふくし相談課、障がい福祉課、長寿課、家庭児童課、岡崎市民病院地域医療連携室、消防課、学校指導課、岡崎市障がい者基幹相談支援センター、福祉の村相談支援事業所、健康増進課 欠席：商工労政課

[次第]

- 1 挨拶
- 2 議題「第2次のち支える岡崎市自殺対策計画（案）」について
- 3 その他（意見交換）

<開会>

- 1 挨拶

【保健部長】：（挨拶）

【事務局】：本日の委員の出席状況は20名中15名が出席しているため、岡崎市自殺対策推進協議会要綱第4条第2項の規定により本協議会は成立。ここからの議事進行は岡田会長にお願いします。

【岡田会長】：（議事録署名者に山本委員と光部委員を指名。出席者一同の拍手により承認）

- 2 議題「第2次のち支える岡崎市自殺対策計画（案）」について

【事務局】：（資料に沿って説明）

【岡田会長】：事務局の説明について、御意見・御質問等はあるか。

【坂東委員】：DV相談に関する事で、DVを受けている方の相談が中心になると思うが、それを日常的に見ている子どもたちが長年その状況に置かれているところの問題が出てくると思う。その影響で大人になってうつ病を発症しやすいという研究論文等もあるので、相談対応時には子どもの現状、精神面、身体面の把握が大事だと思う。

【家庭児童課】：家庭児童課ではDV相談を受ける際、夫婦間での行為や行動について、子どもが直接的、間接的に聞きすることで面前DVとなることを懸念している。家庭児童課には児童相談に対応する係もあり、相談者の意思も確認しながら情報共有し、訪問等のケアにつなぐように心掛けており、個々の相談対応時、配慮を強化していきたい。

【岡田会長】：12月に作業部会も実施していると伺っているが、作業部会の方から御意見や補足があれば発言いただきたい。

【光部委員】：大学での話になるが、物を配布したり、一方的な授業のみでは、情報が生徒に伝わりに

くいと実感している。自殺とは関係がないが、就職活動の場で保護者を巻き込むと学生自身も動き出すことが見られるため、ゲートキーパー講座もオンデマンド等で、保護者など身近な人も気軽に見られるといいと思う。変化に一番に気づくのも家族だと感じている。

【事務局】：オンデマンドのゲートキーパー研修は厚生労働省が作成したのがあり、市職員は受講しているが、一般の方には周知していなかった。今後の事業に活かしたい。

【岡田会長】：若年層と女性の自殺が過去 10 年間で最多ということには衝撃を受けた。説明にあったようにコロナ禍で活動が縮小したり、活動の方法が模索できないこともあったと思う。今はその状況が徐々に解消されているが、コロナ前に戻ったのではなく、コロナを経て情報の届かせ方は従来通りではなくなっているのかもしれない。特に若者に対して、見聞きしてもらえよう、こちらから歩み寄っていくスタイルが必要なのかと思う。みなさんで知恵を出し合っていきたいし、若者でつらい体験をしたり乗り越えた体験をした方からのメッセージは、今つらい思いをしている方に届きやすいと思うため、検討していけるといいと思う。

【坂東委員】：ゲートキーパー研修等、一方的な内容が多いように感じるが、研修にロールプレイは含まれていないのか。ロールプレイで発信する側と受け手側の双方が経験を積むことで、お互いの気持ちの理解や感受性を高めることに役立つと思う。精神的に不安定な方や PTSD がある方には難しいと思うが。

【事務局】：健康増進課では職員が出前講座を実施し、小中学校の児童生徒に研修を行っている。可能な範囲でロールプレイも実施している。受講者の周囲で自死された方がいないかについては配慮して実施している。

【岡田会長】：コロナ禍で、研修の中でのやり取り（会話）が厳しい時期もあったが、今後は取り入れやすくなってくると思う。受講者を巻き込んで経験してもらえるとよいが、それが難しい場合には作ったものを見ていただくなど状況に合わせてやっていけるとよい。

【村井委員】：フリースクールを運営している関係で、不登校の親の会を実施している。先日、飛び込み参加の母親が来られ、泣きながら現状を話され、その時は死にたかったと話された。参加者から、不登校から脱却して今ではこんなふう成長したよ、などいろいろな話を皆さんがしてくれ、最後は笑顔で帰っていかれた。不登校の相談は親の会が市内にいくつかあるが、自分と同じ立場の人を見つけることが難しく、相談先がないという方もいる。きめ細かい、分かりやすい発信がされるといいと思う。

【花井委員】：地域で自死遺族支援をしていただいていることに、遺族会の代表として感謝申し上げたい。資料 2 の 32 ページと資料 3 の 3 ページの体系図は、6 番が自死遺族への支援、7 番が女性への支援、となっているが、そのほかのページでは、逆の順番で記載されている。統一していただけると分かりやすい。

【事務局】：資料 2 の目次ページに記載している通り、6 番が女性への支援、7 番が自死遺族への支援、という順番で統一し、修正させていただく。

【岡田会長】：資料 3（概要版）については広く皆さんに見ていただくものになるかと思うが、自殺対策計画は市民の方にはどのような媒体で見ることができるのか。どこまで配布されるのか、周知はどうなるのか。

【事務局】：紙の媒体として配布できる数には限界があるが、ホームページに掲載し、製本された形で印刷もし、市民の方にも見ていただけるような形での作成を考えている。

【岡田会長】：その他に御意見・御質問等はあるか。

（他に御意見・御質問がないようなので）議題2について、頂戴した御意見により事務局で一部修正を加え、その他の内容についても以上をもって承認とするがよいか。

（委員より異議なし）

3 その他（意見交換）

【岡田会長】：議題3のその他（意見交換）について、全体を通して意見等はあるか。

【安西委員】：参考資料「現計画の重点取組及び評価」に、若年層対策の「SOSの出し方に関する教育の推進」とあり、児童生徒からSOSが出せるようないろいろな対策が期待されているが、学校で講義をしてもらえれば欠席者以外には周知でき、非常に有効だと思う。5年後の目標について「各校判断により実施する」とあるが、目標としては必ず実施する方向で進められた方がいいのではないか。

【学校指導課】：大事な取り組みと捉えており、学校で進めているところであるが、各校で取組方法の形態に違いがある。現計画の5年間については、そのような表現としたが、取り組み状況は学校訪問時に確認していくため、把握に努めたい。

【安西委員】：産業医を数年前までやっており、産業医の在り方についても、トヨタ系の産業医の講義は非常によく理論づけられており、予防の対策もできているところが多い。大きな企業は予算もマンパワーもある。問題は、企業による格差が広がってきていることで、中小企業はできていないように思う。参考資料の、労働関係対策に「市内のコンビニエンスストアやスーパー等にゲートキーパー及び相談先の周知ができるカードの設置等」と書かれており、労働者の働いている現場である企業自体に、カードを配るのは難しい場合もあると思うが、ポスターを配るなどはできないか。中小の企業の悩んでいる方たちに対するアプローチができないか。

【事務局】：従業員が少ない企業への周知が課題と思っている。共済会や商工会議所などに御協力いただいているところであるが、今後も引き続き労働関係対策部会で検討していきたいと思う。なお、参考資料については、現行計画の目標となっており、「SOSの出し方に関する教育」と合わせて、現行計画から第2次計画では表現を変えている。

【岡田会長】：貴重な御意見であり、反映していただきたい。

【花井委員】：遺族会では、愛知県から補助金もいただき、分かち合いの会など支援をいただき、感謝している。岡崎市では11月にげんき館で自死遺族の分かち合いの会を開催し、大勢の方の参加があった。遺族会は2003年にでき、20年近く活動をしており、岡崎市では2010年度から約10年以上、分かち合いの会を開催している。自殺対策は、一般の方やこころが病んでいる方、大勢の方に対策が行き届くといいと思うが、遺族にももう一歩届かなければと思っている。常にそう心掛けているが、今回、岡崎市で大勢の参加がいただけただことについて、何か特別な広報をされたのか。名古屋市でも20年間開催しており、遺族に届くようなアプローチの参考にしたいと思う。

【事務局】：今年、新たな広報をしたということはないが、自死遺族相談を年に4回実施しており、市政だよりも自死遺族という言葉が載る機会が分かち合いの会だけでない、ということもあるかもしれない。火葬場も保健部管轄の施設であるため、そちらにもチラシを以前から置いている。自死遺族相談はチラシやホームページ等での周知を継続的に行っているため、認知されてきているものもあるかもしれない。

【花井委員】：遺族会はスタッフ自身も遺族であり、来られる方も遺族という会。今回の分かち合いがととてもよく、スタッフの気持ち的にも励みになったため、この場を借りて感謝申し上げます。

【岡田会長】：宮澤委員からご案内チラシについて説明をお願いしたい。

【宮澤委員】：(チラシのご案内)

【岡田会長】：ほかに事務局から連絡事項があればお願いしたい。

【事務局】：現在の委員については2年の任期が3月末で終了となり、感謝申し上げます。次回の協議会の開催は令和6年7～8月に予定。

【岡田会長】：すべての議題について、以上で終了とする。

【事務局】：(挨拶)

(終了)